

事業報告

令和6年度は介護保険法の改正に伴い、経過措置であった研修等の取り組みが義務化されました。この義務化に伴い各事業所で研修計画を立案し、計画に基づき法令遵守やハラスメント防止、虐待防止研修、認知症研修、感染症予防研修を実施し、研修内容の理解と正しい知識を学んでおります。

介護職員処遇改善加算の制度が一本化され、加算率の引き上げに伴い算定要件であるキャリアパス要件、月額賃金改定要件、職場環境要件を満たすことが必要となりました。要件である職場環境要件の生産性向上の取り組みを促進するため、全体会議で検討会を開催致しました。今後も全体会議のなかで各事業所の取り組みや進捗状況を確認して参ります。

人材の確保については、介護職員の人員不足の影響により運営が厳しい状況ではありますが、本年度の職員の採用は職員紹介報奨金制度や就職支援金制度を活用し、介護職員7人、看護職員2人、調理員・他3人の合計12人を採用しております。

今後もこの制度の活用のほか、ホームページや広告媒体を有効活用し職員の確保に努めて参ります。

今後も母子・父子福祉事業、高齢者介護事業等の社会環境が一層厳しくなると思われませんが、サービスの質の向上、働きやすい職場環境づくり、人材創出・育成、地域との連携強化を重点課題とし、安定した法人運営に努めて参ります。

◆ 主な事業

北見睦会本部

○ 理事会

第1回	令和6年	5月30日	第2回	令和6年	8月29日
第3回	令和6年	11月25日	第4回	令和7年	2月20日
第5回	令和7年	3月27日			

合 計 5回開催

主な議案

諸規程の改訂、事業報告及び決算報告、補正予算、積立金の取崩し、監査報告、運営指導結果報告、事業計画及び資金収支予算、その他各種事業、各種報告等の審議を行ないました。

○ 評議員会

定時評議員会 令和6年 6月14日 1回開催

主な議案

規程の変更、事業報告及び決算報告、事業報告及び決算報告、計算書類、財産目録の承認、理事及び監事の報酬について承認を得ました。

○ 役員研修会参加状況

法人役員・施設長専門研修はオンデマンド配信により、1名が受講致しました。

北見母子・父子福祉センター

○ 食堂ホール事業

昨年度より食材料費や消耗品費等の相次ぐ値上げにより、運営が厳しい状況となり、やむえず4月より宴会部門の価格改定、10月に食堂メニュー、11月にテイクアウト弁当の価格改定を行いました。

その結果、食堂では1食当たり単価が752円から778円へ26円の増、宴会部門では1回当たり3,997円から4,263円へ266円の増となりました。

食堂・宴会部門の利用者の集客を目指し、ホームページの広告掲載や食堂メニュー表も刷新し掲示しております。

また、職員の調理技術を高めるため、外部媒体の情報を参考にするとともに、安価で旬の野菜等を使用し、食品ロスにも積極的に取り組みながら堂やテイクアウト弁当の新メニューの考案や、年末オードブル等季節に応じたオードブルの販売を積極的に行います。

なお、仕入材料費や必要経費の削減等、効率的な運営を心掛けた結果、食堂仕入では原価率が前年44.6%でしたが、本年度は40.6%と、前年より4.0%減少しました。

○ 夜間託児所事業

今年度はインフルエンザ等の感染症の影響が少なかったが、利用登録者の減少もあり利用者1日平均4.4人で前年より1.2人減少しました。

運営面では、月1回の全体研修で虐待の防止のための措置や、緊急時における対応方法、非常災害対策等の研修を実施するとともに、重大事故防止マニュアルの作成や保育安全計画の作成など、幼児の安全を確保するための取組みを行っております。

老人福祉事業

○ 老人福祉事業

緑ヶ丘デイサービスセンターの利用者数は1日平均13.7人、稼働率40.3で前年比率91.3%となっております。美芳町デイサービスセンターでは、1日平均20.0人、稼働率58.8%、で前年比率94.8%でとなり、年度当初の計画目標を達成することができませんでした。

両事業所とも新規通所者は増加したが、同数以上が体調不良による入院等のキャンセルや施設への入所、または死亡等により減少したため稼働率の低下に繋がってしまいました。その結果、両事業所とも損失運営となり大変厳しい状況となりました。

次年度は、法人内及び他事業所の居宅介護支援事業所との連携、情報提供を強化し、新規登録者を確保して稼働率の向上に努めたいと考えます。また、機能訓練の充実等サービスの質の向上に努め、現登録者の満足度の向上、利用日数の増加に繋げ、稼働率の向上及び利用者・地域に信頼されるデイサービスづくり努めて参ります。

特別養護老人ホームの稼働率は定員比率 98.9%、前年比率 103.5%と目標を達成することができました。医療機関や居宅介護支援事業所への空床状況等の情報提供や連携強化に努めたことにより、平均空床期間が前年度より短縮することができ、稼働率の向上に繋がりました。

グループホーム 1 号館の稼働率は 94.0%、前年比率 101.3%、グループホーム 2 号館・3 号館の稼働率は 95.2%、前年比率 97.9%、グループホーム 5 号館・6 号館では稼働率が 95.9%、前年比率 105.6%と各事業所とも稼働率が低調で収益の確保はできませんでした。各事業所とも、長期入院者及び複数人の死亡による空室が発生したが、空床期間の短縮ができなかったことにより稼働率が低下したものです。

次年度は、職員と入居者が一緒に考え、入居者一人ひとりに合わせた生活づくりを行い、入居者が安心して施設での暮らしを送ることが出来るよう、知識・技術の向上に努めたいと思います。

また、ご家族とのコミュニケーションを図り、安心して頂ける雰囲気づくり、信頼関係の構築に繋げて参りたいと思います。

器具及び備品の取得

- 今年度は器具及び備品の購入はございませんでした。

消耗器具備品の取得

- 下記事業所では消耗器具備品の購入を実施いたしました。

グループホーム 2 号館・3 号館	I Hコンロ購入	118,800 円
-------------------	----------	-----------

施設整備・修繕

- 下記事業所では経年劣化に伴い各種修繕を実施いたしました。

美芳町デイサービスセンター	ボイラー修繕	162,500 円
緑ヶ丘デイサービスセンター	ボイラー修繕	119,240 円

特別養護老人ホームむつみ	厨房エアコン・流し台修繕	299,530 円
特別養護老人ホームむつみ	地下室貯蔵室防湿工事	261,778 円
グループホーム1号館	窓サッシ修繕	110,000 円

- 令和6年度の人材育成事業につきましては、法人全体での研修会を取り止め、各拠点間での研修を行いました。

各事業所内研修では6年度の研修計画に添って、感染症予防研修、認知症研修、防災訓練（緊急時対応訓練）、その他事業所独自の課題である研修の取組みを行いました。